

大規模地震・風水害発生時の初期フロー

勤務時間外の初期フロー

災害発生・
発生予測

身を守る
身を守る準備を

状況確認

避難等の判断

落ち着いた
場所

家族の安否確認

家族安否の
確認後

会社に安否報告

地震から身を守る

■地震発生時

「命を守る3行動」を！

※まず低く～頭を守り～動かない

○家の中

- ・机、テーブルの下で頭を保護
- ・倒れる家具や家電のない場所へ
- ・火の始末は揺れが収まってから

○エレベーターの中

- ・全ての階のボタンを押し停車階で降りる
～閉じ込められたら非常通報ボタン～

○路上

- ・頭を保護し頑丈な建物の中へ
- ・落下物を避けて公園等広い場所へ

○車・電車内

- ・車は左に寄せて停車
- ・電車ではつり革や手すりにしっかりつかまり乗務員の指示に従う

(注)余震に十分気をつける！

風水害から身を守る

■風水害認知時

普段からの準備と早めの行動を！

○警戒レベル1・2(気象庁発表)

- ・気象情報に注意し心の準備
- ・自宅の水災リスクを再確認
- ・避難経路、避難場所等を再確認

○警戒レベル3(自治体発令)

- ・気象情報、自治体発令を漏れなく確認
- ・「高齢者等避難」の発令で高齢者等を支援して避難
- ・水災リスクがなくても自主避難を判断
- ・不要、不急の移動はしない

○警戒レベル4(自治体発令)

- ・「避難指示」の発令で避難し命を守る
- ・発令がなくとも自主避難を判断
- ・夜間や浸水等危険な場合は垂直避難

災害発生

○警戒レベル5(自治体発令)

「緊急安全確保」で所在場所に関わらず命を守る！

大規模地震・風水害発生時の初期フロー

避難等の判断

■地震発生時

○自宅が危険な場合

- ・倒壊や自宅周辺で火災が発生すれば直ちに屋外へ避難
- ・近くの一時集合場所か指定避難所へ避難

○津波の危険地域

- ・沿岸部で津波のおそれがあれば直ちに離れ、高台や頑丈な建物の高所へ避難

○避難時の注意

- ・頭を保護し頑丈な建物の中へ
- ・エレベーターを使用せず階段で避難
- ・正しい情報を収集し一人で行動しない

■風水害認知時

○水害リスクのある場合

- ・高齢者等を支援し早めに避難所へ
- ・夜間や周辺に浸水等あれば自宅で垂直避難

○土砂災害リスクのある場合

- ・近隣の安全な場所に立退き避難

■救護・初期消火

- ・近隣で協力し合い負傷者の救護、救出に努める

家族の安否確認

家族間SNS、当社緊急時ポータル「従業員・家族用伝言板」、または下記のサービスを利用して確認！

■音声で伝える

○災害用伝言ダイヤル

- ・「171」をダイヤル ・録音は1、再生は2
- ・相手先電話番号を市外局番から
- ・伝言を録音又は再生

■文字で伝える

- ・インターネットで接続～伝言登録・確認

○災害用伝言板Web171

<https://www.web171.jp/>

○携帯電話の災害用伝言板

NTTドコモ	http://dengon.docomo.ne.jp/
au	https://dengon.ezweb.ne.jp/
Softbank	http://dengon.softbank.ne.jp/

楽天

<https://publicsafety.mobile.rakuten.co.jp/>

○Googleパーソンファインダー

- ・インターネットで接続
- ・名前入力、安否情報登録/検索

<https://www.google.org/personfinder/japan>

会社に安否報告

当社緊急時ポータル「全社・事業所掲示板」を確認し次の要領で報告！

■社員・契約社員

○安否確認システム

震度5強の地震発生により安否確認メールが自動配信→返信して回答

○所属部署連絡網、当社緊急時ポータル「社員用掲示板」を活用

■パートナー・アルバイト

○電話等のほか当社緊急時ポータル「事業所掲示板」コメント欄を活用

家族等の安全確保、安否確認等の後に可能な範囲で所属部署の上長等へ報告

安否報告の内容

- ①所属・名前
- ②本人・家族のけがの有無
- ③自宅の被災状況（社員・契約社員は）
- ④出社の可否
- ⑤連絡事項